



ときわぎ

うね
有年っ子

有年っ子SOUZOUプラン始動!

ご存じでしたか? 朝、校門から児童玄関までの通路は、カタツムリがのどかに横断しています。このカタツムリ、都会ではお目にかかる機会も少なくなり、絶滅の危機に直面しているとのことですが、ここ有年はカタツムリにとっても楽園のようです。登校時に事故に遭わぬよう一匹ずつつまんでは、生け垣の中へ戻しています。「無事でよかったね」と家族に温かく迎えられているんだと、勝手なストーリーを想像しています。もうすぐ、絵本作家になれそうです。

今年度、本校では「SOUZOU(想像・創造)できる児童の育成」を研究テーマに設定しました。多様な価値を認めつつ、新たな価値を生み出すことが求められるこれからの未来社会を生き抜くには、想像力と創造力が必要です。今年度、本校独自の特色ある取組として、有年っ子の可能性と才能を引き出す様々な仕掛けを次々と展開してまいります。名付けて、「**有年っ子SOUZOUプラン ~ココイチ!~**」です。

どうぞ5月も絶大なるご支援ご協力をお願いいたします。

有年っ子SOUZOUプラン ~ココイチ!~ 5月の予定

5月	1日(金)	全校: はじめてのドローン操作体験
	7日(木)	PTA: 理事会にてプラン先行説明
	8日(金)	全校: 異年齢交流SSUタイム
	11日(月)	全校: 先生のお気に入りの本紹介放送開始
	12日(火)	6年: 主権者のための租税教室
	13日(水)	全校: ひとり10鉢フラワー🌻スクール開始
	14日(木)	3年: 森林で学ぶ里山体験隊
	15日(金)	有年地区: 有年っ子応援団活動開始
	19日(火)	全校: プロから学ぶ農業体験わたの種まき
	20日(水)	4・5・6年: カウンセラーこども悩み相談室
	21日(木)	4年: ホタルの舞う長谷川探検隊
	22日(金)	全校: 学力向上ステップアップタイム
	26日(火)	PTA: 大人ほっこりサロン(図書室)
	29日(金)	全校: 学力向上ステップアップタイム

有年小学校は コミュニティ・スクールです

コミュニティ・スクールとは、法律で規定された「学校運営協議会」制度を導入している「地域とともにある学校」のこと。

去る4月24日に14名の委員の皆様を迎え、第1回学校運営協議会を開催しました。(敬称略)

会長：はりま台自治会長の望月守代さん
副会長：東有年自治会長の岩本泰夫さん、西有年自治会長の河本佳史さん にお願
いすることになりました。

ここでは、今年度の学校運営の方針や予定している活動内容の承認をいただきました。有年小学校はコミュニティスクールとして、地域と保護者の皆様のご理解とご協力のもと、24人の有年っ子の瞳が輝く教育活動をどんどん推進してまいります。

現在、「有年っ子応援団」も募集しております。有年っ子のために！という志ある地域の皆様に、どんどんお越し
いただきたいと願っております。ひとりでも多くのご登録をお待ちしております。

1	望月 守代	はりま台自治会長
2	岩本 泰夫	東有年自治会長
3	河本 佳史	西有年自治会長
4	福本 俊弘	東有年老人クラブ会長
5	上山 保	西有年老人クラブ会長
6	大野 利幸	有年地区防犯委員長
7	平尾 年正	交通安全協会 有年支部長
8	平尾 龍	スポーツクラブ21うね会長
9	今井 観照	光明寺住職
10	八瀬 和子	民生児童委員
11	寺坂 八千代	有年小学校放課後子ども教室指導員
12	木下 重樹	赤穂市立有年小学校 PTA会長
13	奥川 大人	赤穂市立有年小学校 PTA副会長
14	田淵 麻衣子	赤穂市立有年小学校 PTA副会長

※回覧でも折り込みでご案内いたしますので、ご覧ください。

チョコッとだけ！お見せします

有年っ子SOUZOUプラン の概要について一部ご紹介します。

- 1 保護者満足度100% 丁寧すぎる指導体制 少人数のメリット
- 2 夢を乗せて宙を舞う ドローンプログラミング 市内初！
- 3 畝作りもお手の物 プロから学ぶ農業体験 せっかくだから
- 4 生産から販売まで がっちり稼ぐキャリア教育 お店します
- 5 隠れた才能を輝かせる 劇団「有年っ子」オンステージ 連合音楽会
- 6 ワクワクの波状攻撃 毎日実施の全校一斉イベント 創造力UP
- 7 季節の花で彩る学び舎 ひとり10鉢フラワー♡スクール

※ 3学期にはこの7項目に加え10項目が達成できていることを目標にして、全有年地区の皆様のご支援を頼りに大きく動き出しました。「ここ有年小がイチバンだ！」という「ここイチ！」な取組をアピールしてまいります。



危険！

実家が坂の上にあります、勢いよく自転車で下ったらそのまま溝に突っ込んで、すごく痛い思いをしました。50年前のことです。今だったら自動車に追突して大事故になっていたと思います。坂道での下り自転車は命を奪う危険性もあります。学校でも繰り返し指導しますので、ご家庭地域でも命を守るための指導をお願いします。